

研究協力をお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名 前立腺がん放射線治療における蓄尿時間と年齢の関連についての解析
1. 研究の対象および研究対象期間 2024年1月～2025年12月に当院で前立腺がんに対する陽子線治療(12回照射)を受けられた方
2. 研究目的・方法 当院の前立腺がん陽子線治療では膀胱への線量低減や前立腺位置の安定等を目的に前処置として一定量の蓄尿を行っております。治療前にエコー装置で蓄尿量を測定し、不足があった場合には飲水や尿が溜まるまで待機をしていただいています。待機時間が比較的長いこともあり、患者様によっては苦痛に感じる場合も考えられます。そこで当院ではこれまでに前立腺がん陽子線治療を受けた患者様の蓄尿に関するデータを用いて蓄尿時間について統計解析を行い、その結果を基に待機時間および飲水量の定量化を検討します。
研究方法 治療日の最終排尿時刻および蓄尿量が基準値に到達した時刻をカルテより取得し、両者の差を蓄尿達成時間と定義します。評価項目は蓄尿達成時間の中央値および蓄尿時間の変動係数(CV)とし、年齢群間で比較を行います。年齢群は70歳未満、70歳代、80歳以上の3群に分類します。また、治療の経過に伴う蓄尿時間の変化の評価で治療を前後半に分け、蓄尿達成時間の中央値の比較を行います。統計解析には年齢群間比較にKruskal-Wallis検定、治療前後半の比較ではWilcoxon符号付順位検定、CVの比較にはKruskal-Wallis検定とSpearmanの順位相関係数を用います。有意水準は $p < 0.05$ としました。
研究期間 倫理審査委員会承認後病院長許可日～2027年3月31日
3. 研究に用いる試料・情報の種類 カルテ情報
4. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

様式3の別添1

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 所属：札幌高機能放射線治療センター

研究責任者： 宮部 泰秀

住所：063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16-1

電話番号：011-665-0020 受付時間：平日9時～17時

本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反(conflict of interest)はありません。